

2019.12.11

『2019.12.4 2019 年度東北大学経営セミナー in 盛岡で講演！！』

2019年度東北大学経営セミナー in 盛岡

生き残りをかけた 地域中小企業の事業イノベーション

急速な人口減少と高齢化に直面している地域経済において、顧客市場の縮小への対応は喫緊の課題となっています。従来からの事業を続けているだけでは事業の縮小もしくは廃業が避けられない中小企業が少なくありません。そこで、地域の中小企業が生き残るためには既存事業を革新（イノベーション）することが求められています。では、これからの地域の中小企業は、何をどのようにして既存の事業を革新することができるのでしょうか。このセミナーでは、地域中小企業の事業イノベーションの考え方だけでなく、事業イノベーションに取り組んでいる株式会社航和の取り組み内容をご紹介します。

日 時：令和元年12月4日(水)
15:00～17:00 (受付開始 14:30)

会 場：マリオス 18階 188会議室
(盛岡市盛岡駅西通2丁目9-1)

参加費：無料



定 員：40名 (定員となり次第締め切らせていただきます)

プログラム

第1部講演 「地域企業の事業イノベーションの考え方」
15:10～ 東北大学大学院経済学研究科教授 藤本 雅彦

第2部講演 「株式会社航和の
(介護)事業イノベーションへの取り組み」
16:00～ 株式会社航和 代表取締役 佐々木 航氏

第3部トークセッション 「事業イノベーションへの課題」
16:30～



2019年12月4日(水)盛岡市マリオスにて「2019 年度東北大学経営セミナー in 盛岡」が開催されました。このセミナーは東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センターが行っている事業のひとつです。生き残りをかけた地域中小企業の事業イノベーションと題しまして、東北大学大学院経済学研究科教授 藤本雅彦氏と弊社代表取締役佐々木航が講演させて頂きました。

介護事業イノベーションへの取り組みを講演した後、トークセッションで事業イノベーションへの課題や解決などをお話したようでした。

今回は、在宅型有料老人ホームななかまど津志田に導入された人工知能(AI)を導入したスマートルームをもとに、「アレクサ」や「エクスペリアハロー」などを紹介してきました。実際に生活へ音声アシストを導入した結果、細かな作業が減る一方で会話を楽しむことができ、利用者の QOL 向上・要介護度の低下につながったケースもあります。また、長寿化・高齢化が進む現代。介護の需要は高まりつつある一方で、介護サービスを提供するスタッフの減少は介護業界の課題のひとつです。介護現場に飛躍的に進歩する IOT や AI 等を導入することは介護スタッフの負担軽減、そしてそれは離職予防にもつながるといえます。

また、「keeper」についても少し話してきたようでした。

今後も東北大学地域イノベーションセンター様との連携を図り、事業を拡大していくことでしょう。

(株式会社航和 広報担当)